

要約

A 病院において特定行為「インスリンの投与量の調整」の手順書における対象者を拡大し、研修における NP の先行実践の意義を検討したので報告する。金沢医療センター倫理審査承認を得た (R07-050)。手順書変更前 2 か月間で新規入院 61 名、糖尿病 12 名。変更後 2 か月間で新規入院 60 名、糖尿病 8 名。変更後の NP による血糖リスク評価 30 件、リスクを踏まえた血糖・スライディングスケール指示 14 件、内分泌代謝内科への他科依頼を行った。手順書変更前後で血糖管理に関連した内分泌代謝内科他科依頼件数は 5 件から 1 件に減少した。これまでは内分泌代謝内科に不要なコンサルトが多くあった。糖尿病を有するイコール内分泌代謝内科コンサルテーションではなく、インスリンの調整を含めた耐糖能管理の一部を NP が内分泌内科と協働しながら管理を行った。質の高い内分泌代謝内科コンサルテーションは、医師の働き方改革への関与や合併症予防へとつながることが示唆された。(397 文字)

キーワード：特定行為、診療看護師、耐糖能